



シリーズセーフコミュニティ 認証取得への取り組み

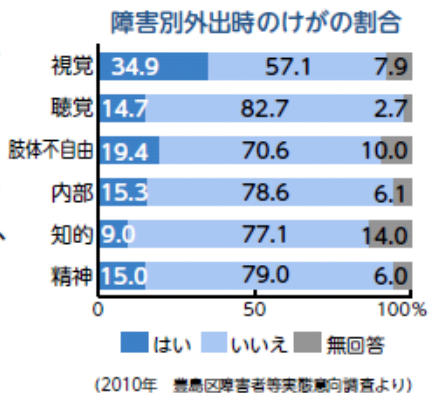
② テーマ 障害者の安全

区には、池袋駅を中心とした交通ターミナルがあり、外出する障害者の割合が高いのが特徴です。今回は、視覚障害者が安全に外出するための取り組みを紹介します。
 障 障害者福祉課 ☎3981-1766

Q1 なぜ、視覚障害者の外出の安全に取り組むのですか？

A 昨年度実施した障害者の実態調査では、50%が「ほぼ毎日」外出しています。

また、外出時のけがの経験については、視覚障害者が約35%と、他の障害者よりも高いことがわかりました。



障害者が安全に外出するために

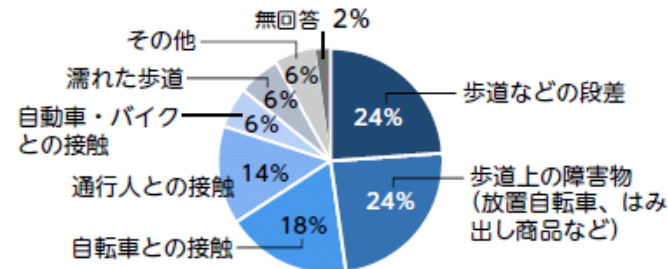
何が課題なの？
 ◆まちのバリアフリー
 ◆情報バリアフリー
 ◆心のバリアフリー

その対策は？
 ◆ユニバーサルデザインによるまちづくり (まちのバリアフリー)
 ◆障害者サポート講座 (心のバリアフリー)

そして、
 「効果の検証」
 ↓
 「対策の改善」へ

Q2 視覚障害者が外出時にけがをする原因は？

A 約半数の人が、歩道の段差と障害物で、けがをしています。また、自転車や通行人との接触など、皆さんのちょっとした注意で防げるけがも多くありました。まち・情報・心のバリアフリーが、けがの予防につながります。



Q3 ユニバーサルデザインによるまちづくりとは、どのような内容ですか？

A まちのバリアフリー化を推進するために、視覚障害者の意見も取り入れて、今年4月に「池袋駅地区交通バリアフリー基本構想」を策定しました。

その一環として、今年4月には池袋駅西口に障害者対応エレベーターを設置しました。



池袋駅西口の障害者対応エレベーター

Q4 障害者サポート講座は、どのような内容ですか？

A 心のバリアフリーを推進するために、障害者が講師となって、障害者へのちょっとした声かけやサポート方法の講座を開催しています。

皆さんの声かけやサポートが、障害者の外出時の安全・安心につながります。

